

ベトナム、Apple の主要生産拠点へ成長

2025 年 2 月 26 日 作成

カテゴリ ベトナム経済 経済動向

ベトナム、Apple の主要生産拠点へ成長

ベトナムは電子部品製造への外国直接投資を積極的に誘致しており、サムスンや LG をはじめとする世界的なテクノロジー企業の投資先となっている。特に Apple は、ベトナムを重要な生産拠点の一つと位置付けており、同社のサプライチェーンへの関与が急速に拡大している。

Apple のサプライヤーリストによると、ベトナム国内に拠点を持つ Apple のパートナー企業は 2022 年から 2023 年にかけて 27 社から 35 社へと増加し、東南アジアで最も多く、世界でも 4 位となった。中国（158 社）、台湾（49 社）、日本（44 社）に次ぎ、アメリカ（26 社）や韓国（34 社）を上回っている。

ベトナム国内では、北部のバクニン省が Apple 関連の生産拠点として最も多く 9 カ所を有し、次いでバクザン省が 5 カ所、ビンフック省が 4 カ所となっている。Apple の主要サプライヤーである Foxconn や Luxshare、またサムスンやインテル、LG などの企業がベトナム国内に製造拠点を拡大し続けている。

2023 年 4 月には、Apple のティム・クック CEO がベトナムを訪問し、高品質な投資とパートナーシップの強化を提案した。Apple は、ベトナム国内のサプライヤーからの部品調達を増やす方針を示し、同国のイノベーション分野への支援も強化している。Apple のベトナムにおける総投資額は 2019 年以降で 16 億ドル（約 400 兆ドン）に達し、同社のサプライチェーンと iOS アプリ経済を通じて 20 万人以上の雇用を創出している。

また、2023 年 5 月には Apple がベトナムでオンラインストアを開設し、同国市場への関心の高さを示した。現在、ベトナム国内では AirPods、iPad、Apple Watch の生産が行われており、2025 年までには iPad と Apple Watch の世界生産の 20%、MacBook の 5%、AirPods の 65% をベトナムが担うと予測されている。

以上